

1. 委員会開催状況

1) 委員会 8回(中止2回)

2) 検討事項

- (1) 災害支援ナース育成研修(基礎編・実務編)・災害支援ナースフォローアップ研修 企画・運営・評価
- (2) 災害看護支援ポケットマニュアル改訂にむけた協議
- (3) 令和5年度 事業計画及び予算(案)の検討

2. 活動報告

1) 災害支援ナース育成研修(基礎編)

テーマ:「災害支援ナースの第一歩～災害看護の基礎知識～(基礎編)」 JNA収録DVD研修

開催日:1回目(集合)7月21日・7月22日、2回目(オンライン)9月1日・9月2日

講師:国立病院機構本部 DMAT事務局 小井土 雄一 氏、国際医療福祉大学大学院 石井美恵子 氏、公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院 残間由美子 氏、国立病院機構本部 DMAT事務局 河島 護 氏、公益社団法人日本看護協会 鎌田久美子 氏、人吉市役所健康福祉部保健センター 久保田美枝子氏、社会保険大牟田天領病院(福岡県看護協会災害支援ナース) 清末定美 氏、社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院(熊本県看護協会災害支援ナース) 松野ひとみ 氏、医療法人弘遠会すずかけヘルスケアホスピタル(静岡県看護協会災害支援ナース) 大場好子 氏、福岡県立精神医療センター太宰府病院(福岡県看護協会災害看護委員) 笹隈友美 氏

内容:災害医療の基礎知識/災害時に求められる看護支援活動/災害時の感染対策/災害時の心理変化とこころのケア/看護協会の災害時看護支援活動/学びの共有/災害時の他職種との役割と連携/災害支援ナースとしての活動の実際(避難所支援・病院支援・宿泊者施設支援)/災害支援ナースの活動報告・登録・更新の手続き

対象:保健師、助産師、看護師、准看護師

受講者:82名 修了者:82名

2) 災害支援ナース育成研修(実務編)

開催日:9月15日・9月16日(集合)

講師:福岡県医療指導課 永野朝男 氏、福岡県京築保険福祉事務所 岩本治也 氏

災害看護委員講師:川崎病院 吉開香織、済生会二日市病院 川野健、福岡県立精神医療センター太宰府病院 笹隈友美、福岡大学病院 米川真未、小倉記念病院 里将平、九州医療センター 田口裕子、飯塚病院 小畑亜希子、福岡青洲会病院 藤山貴之、福岡県精神保健福祉センター 真子美和

内容:福岡県の災害医療体制/DHEAT/災害発生から派遣～現地での活動～帰還までの机上シミュレーション

対象:災害支援ナース育成研修【基礎編】受講修了者

受講者:69名 修了者:69名

3) 災害支援ナースフォローアップ研修

開催日:11月17日、11月18日(集合) ※同内容2回開催

講師:福岡県医療指導課 永野朝男 氏、福岡県粕屋保健福祉事務所 伊勢真美子 氏、福岡県田川保健福祉事務所所長 高田淳子 氏

災害看護委員講師:川崎病院 吉開香織、済生会二日市病院 川野健、福岡県立精神医療センター太宰府病院 笹隈友美、福岡大学病院 米川真未、小倉記念病院 里将平、九州医療センター 田口裕子、飯塚病院 小畑亜希子、福岡県精神保健福祉センター 真子美和

内容:福岡県の災害医療体制/DHEAT/派遣要請から出勤までの流れ、活動計画立案の考え方ポイント演習(情報整理、アセスメント、問題点の抽出、活動方針の立案)、活動報告、事例検討

対象:災害支援ナース登録者

受講者:124名 修了者:124名

4) その他

- ・日本看護協会と都道府県看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練 なし
- ・福岡県看護協会と災害支援ナース登録施設との情報伝達テスト 12月20日実施

3) 今後の課題・検討事項等

<災害支援ナース育成研修について>

- ・基礎編は、新型コロナウイルス感染症拡大により、7月と9月に開催された。災害看護委員は、2日目の災害支援ナースの活動報告・登録更新の手続きに係る項目を担当した。アンケート結果では、理解度・役立ち度ともに「95%以上が理解できた・役立った」との回答であり、研修内容については、「災害支援ナースの活動内容がわかりやすかった」との意見が多かった。また、新項目として、令和4年度より学びの共有や災害時の感染対策が入った。
- ・実務編は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から2会場をオンラインで繋ぎ実施した。Web会議システムの操作に多少時間を要したが、比較的スムーズに実施できた。アンケート結果では、ほぼ全ての項目で「理解できた」「まあまあ理解できた」と回答した人が90%を超えており、講義とグループワークを通して災害支援ナースとしての活動の実際をイメージすることが出来たと考える。令和4年度は、研修受講者の6割以上が災害支援ナースへの登録に繋がった。
- ・フォローアップ研修についても、グループワークは2会場で実施した。講義やグループ発表は一同に会して実施したが、運営はスムーズにできた。アンケート結果では、全ての項目で「理解できた」「まあまあ理解できた」と回答した人が90%を超えており、ほぼ目標は達成したと考える。令和4年度は新たに事例を作成し、実際の派遣時のアセスメントや活動計画等を提示する等、よりリアルに体験できる工夫を行った。次年度も引き続き実践に活かせる研修内容について検討していく。

<災害看護支援ポケットマニュアル改訂について>

- ・本文は、令和3年度の災害看護支援マニュアル(改訂版)と同様とし、添付する様式や資料の検討を行った。